

はじめに

駒ヶ根共立クリニック開院三十周年の記念すべき年に「泣いて笑ってみんなで癒会」第三号が発刊されるにあたり、心よりお祝い申し上げます。

私は愛知県名古屋市の偕行会本部にて透析部門全体の運営を担当していますが、かなり前に駒ヶ根共立クリニックの診療・運営に少しだけ関与させて頂きました。その時に「癒会」の活動を知りました。偕行会グループ内の他施設ではこのような取り組みは無く、とても感銘を受けました。またフラワーアレンジメント展示などの自主的な活動にみられるように、駒ヶ根では透析患者さんとスタッフとの距離が近く、家庭的な雰囲気での医療が行われていることも実感しました。これは愛知でも真似をしようと、当時私が院長をしていたクリニックでも川柳を募集し、廊下やエレベータ内に作品を展示することになりました。概ね好評でしたが長続きはしませんでした。

「笑い」が心と体にいいことはよく知られています。しかし息の長い活動として実践することは簡単ではありません。真似しようにもなかなかできないのです。その点、駒ヶ根共立クリニックの取り組みは本当に素晴らしいものです。学会でも注目されており、他にはない活動として評価されています。